

ドローンを「売る」会社から
地域農業を「支える」会社を目指して



株式会社エアーアシストジャパン
代表取締役 椿 祐樹

株式
会社

エアー アシスト ジャパン

2018年設立(2022年法人化)

代表取締役 椿 祐樹

<事業内容>

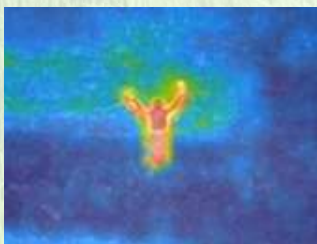
- ◇ 農業用ドローン・自動操舵システムの販売・教習・整備・普及活動 など
- ◇ ドローンによる請負作業 など
- ◇ 撮影・点検・防災・運搬業務 など
- ◇ **農業者様トータルサポート**



授業・講習会



資材運搬・観測業務



消防・防災活動



教習・普及活動



ドローン散布



無人ヘリ散布

ドローン導入実績

山梨県Grape Base様



鳥取県トゥリーアンドノーフ様



滋賀県イカリファーム様



滋賀県るシオールファーム様

農業界の課題

1

高齢化

農業従事者の平均年齢が上昇し、後継者不足が問題となっています。

2

人手不足

小規模農家の減少により、農業従事者が不足しています。

3

農地集積

大型農家への農地の集中が急速に進んでいます。



スマート農業の推進

1 AIの活用

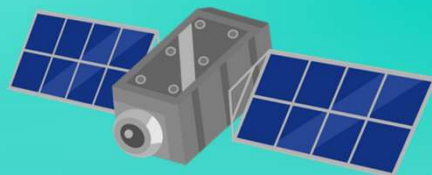
勘や経験に頼らず、AIを活用して効率的な作業を実現します。

2 最新ツールの導入

誰でも同じ水準で作業ができる環境を目指します。

3 継続可能な農業

効率化により、持続可能な儲かる農業を実現します。



ドローン導入メリット

1 大型農家・営農組合等で購入できる価格帯
→高価な無人ヘリの問題を解決

2 取り回し、運用が容易
→適期作業、作業の幅が広がる

3 操縦が比較的簡単
→各種センサーの進歩・自動飛行が可能

4 他のアプリケーションとの連携
→専用アプリやザルビオなどの活用



ドローン＝スマート？

- 1 教習が必要
- 2 飛行時間が短い
- 3 補助者が必要
- 3 墜落のリスク
- 4 点検・保険の費用



事故の様子



ドローンで、 スマート農業 しませんか？

**購入前・後のサポート
お任せください！**

-  年間1,000ha以上の作業実績！
-  無人ヘリ・ドローン10年以上の実績！
-  新技術の情報提供！

**若者が「かっこいい」と
思える農業へ！**

Reforms in agriculture are about to take place.
Let's all use drones to liven up the industry.
Enjoy the work that helps people.

CONTACT US

株式会社エアーアシストジャパン
兵庫県佐用郡佐用町安川1089
☎ info@air-assist.io

販売・普及

農業界では高齢化の進行や作業のスマート化によりドローンの導入が進んでいます。しかしドローン導入にはさまざまなハードルがあります。お電話が安心して導入できるようにアドバイスをし、販売・普及活動を行っています。

教習

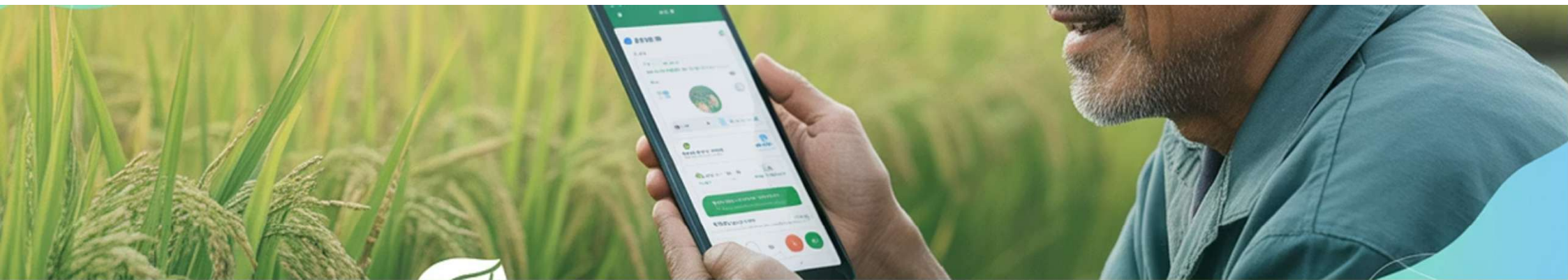
ドローンを安心・安全に使用していただくために教習業務は必須です。航空法をはじめ、農業に關する様々な知識を丁寧にお客様に講習します。

整備

過酷な環境で使用する農業ドローンを安心してご使用いただけるようにメンテナンスします。シーズン中に起こる故障や事故にも対応します。



ホームページ



スマート農業の課題

高い初期コスト

最新の農機やシステムは高額なものが多く、導入にまとまった費用がかかります。

ITリテラシーの必要性

高齢化が進む農業従事者にとって、新しい技術やシステムの操作習得に抵抗がある場合があります。

通信環境の整備

地方によっては、インターネット環境が十分に整備されていない地域があり、導入を阻む要因となることがあります。

規格の統一

様々なメーカーが独自のシステムを開発しているため、異なるメーカーの機器間で互換性が低い場合があります。

当初は受託作業会社としてスタート

事業の進化と反省点

農業用ドローン販売に参入

教習、整備事業所の認定を取得し購入後もフルサポートできる体制を構築。

しかし、一方での反省...

「ドローンを買えばスマート農業」という誤解。
補助金があるからと本来必要ない人にも売ってしまった。

「売らない判断」の難しさを実感。



無人ヘリでの受託



教習の様子

コントラクターの不足

・ドローンがいない人に「**いない**」と言うだけなら簡単。

・しかし…代わりに作業してくれる業者が周りにいない。
「**断る責任**」=「**作業を請ける・担う仕組み**」が必要。

→ **コントラクター育成**が次の課題と認識。



コントラクター養成の様子

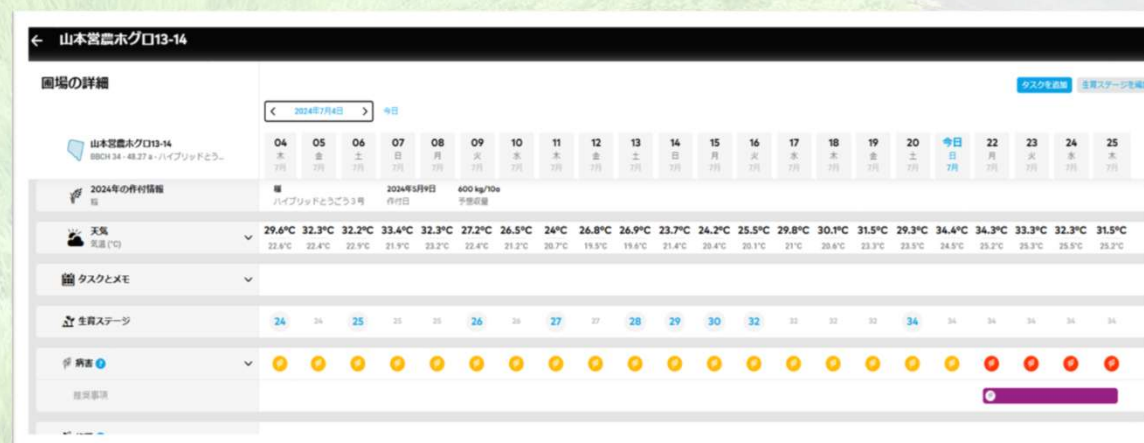


デジタル×仕組化

- ・ザルビオなどの**AIツール**をフル活用。
- ・勘や経験だけでなくデータに基づいた**根拠**ある作業。
- ・誰がやっても一定の成果が出る仕組みづくり。



ザルビオ可変施肥



ザルビオBBCH(生育指数の見える化)

農業全体の課題と方向性

- ・多くの農家と関わる中で見えてきた現実。
 - ・高齢化、耕作放棄地の増加、営農組合の崩壊。
 - ・自分たちの作業の中で、何を普及させれば全体が楽になるか？
- ドローンの大型化・自動化が進む中で
種をまく「直播**」**に可能性を感じる。
- ・中山間地域も守れる手法ではないかと考えた。



湛水直播の様子(RTK自動飛行)



出芽した圃場(直播から約2週間)

新規就農支援と実践例

- 「あぐりーど玉野」「神明ホールディングス」「エアアシストジャパン」で
新規就農者サポート事業を開始。
- 「トラコの田んぼプロジェクト」始動。
休耕田再生・農機・知識・経験ゼロからスタート。
- 初期投資を抑え、無理なく**継続できる形**
収益化にも成功。
- 日本農業新聞などメディアにも掲載。

中山間地域を
救えるのか？

**真庭市、
新たな取組み！**

作業受託フルサポート



休耕田再生・稲刈イベントの開催

2025年10月28日 掲載

休耕田を再び実りの場に。ドローンやAIをフル活用した地域業者の協働で農地再生プロジェクト始動

株式会社エアーアシストジャパン
| プレスリリース



株式会社エアーアシストジャパン

休耕田の再生と地域農業の活性化・農業未経験者でも参入可能な新モデルの創出・農業DX・地域貢献・担い手不足解消へ

株式会社エアーアシストジャパン（本社：兵庫県佐用町）は、兵庫県を拠点に活動するSky Studioの

「Torako」と連携し、休耕田の再生および持続可能なスマート農業モデルの構築に向けた共同プロジェクトを始動いたしました。

本プロジェクトでは、ドローン・AI・委託型農業を組み合わせた新たな農業参入モデルの実証を進めており、農業未経験者でも参入できる可能性を開く仕組みの構築を目指します。



◆拠点：兵庫県内の休耕田・連携企業：株式会社エアーアシストジャパン・開始：2025年4月30日～10月1日

torakoの田んぼ2025年

10aあたり結果

①46.15a ②34.06a(休耕) 80.21a

| 時期 | 内容 | 作業者 | 支出 | 収入 | 備考 |
|--------|-----------|------------|---------|---------|-----------------------------------|
| | 計画書の作成 | 生産者 | | | |
| | 共済 | 生産者 | 400 | | |
| | 水利費 | 地権者 | 0 | | |
| | もみの発注 | 生産者 (AAJ) | 14,000 | | しきゆたか@3,500円×4kg |
| 4月10日 | 耕運① | 業者 | 8,000 | | |
| 4月中旬 | もみのコーティング | 但馬米穀 | 12,560 | | |
| 5月中旬 | 耕運② | 業者 | 8,000 | | |
| 5月20日 | ラウンドアップ | AAJ | 3,465 | | 10aあたり500cc使用で965円(税別) 小売+作業2500円 |
| 5月31日 | 代掻き① | 業者 | 9,000 | | |
| 6月4日 | 代掻き② | 業者 | 9,000 | | |
| 6月6日 | 直播+初期除草剤 | AAJ | 8,050 | | 4,800円+3,250円(マスラオ) |
| 7月3日 | 元肥散布 | AAJ | 7,700 | | 3,200円+4,500円(道路側のみN44×5袋) |
| 7月3日 | 中耕除草剤 | AAJ | 2,200 | | 2,200円(流星) |
| 7月29日 | 追肥 | AAJ | 2,500 | | 2,500円(流星) |
| 8月13日 | 中耕後期除草剤 | AAJ | 5,100 | | 5,100円(ノブレット) |
| 8月26日 | 出穂期防除 | AAJ | 3,770 | | 2,200円+1,570円(エクシード+ブラバリ) |
| 9月上旬 | カメムシ防除 | AAJ | 2,820 | | 2,200円+620円(スタークルメイト) |
| 10月13日 | 刈取 | あぐりーど玉野 | 20,000 | | |
| | コンバイン運搬費用 | あぐりーど玉野 | 1,000 | | 8,000円(80a) |
| | 乾燥・調整 | あぐりーど玉野 | 16,020 | | 445kg×36円 |
| | 米袋・フレコン代 | あぐりーど玉野 | 790 | | 米袋5袋のみ使用・フレコン4袋(80aで) |
| | 出荷 | 但馬米穀 | | 213,000 | 427kg 7.1俵×30,000円 |
| | 草刈4回 | 地権者 | 10,000 | | 2,500円×4回を想定 |
| | 水管理 | 生産者 | | | |
| | | | | | |
| | | | 151,445 | 213,000 | |
| | | | | | |
| | | | | 61,555 | 10aあたりの利益(税別) |
| | | | | | |
| | | 1kgあたりのコスト | 332 | | |

10aあたり約6万円の利益

弊社の現状課題



業者の乱立、価格競争

年間約1,000ヘクタールの農作業を請け負っていますが、作業量や金額だけに頼るビジネスモデルには限界を感じています。



新たな方向性

提案力と根拠を備えたサービス提供を目指し、付加価値の高い事業展開が不可欠です。

農業支援の新しい形

1

専門業者の構造のあり方

各分野の専門コントラクターが集まる仕組みが必要です。

2

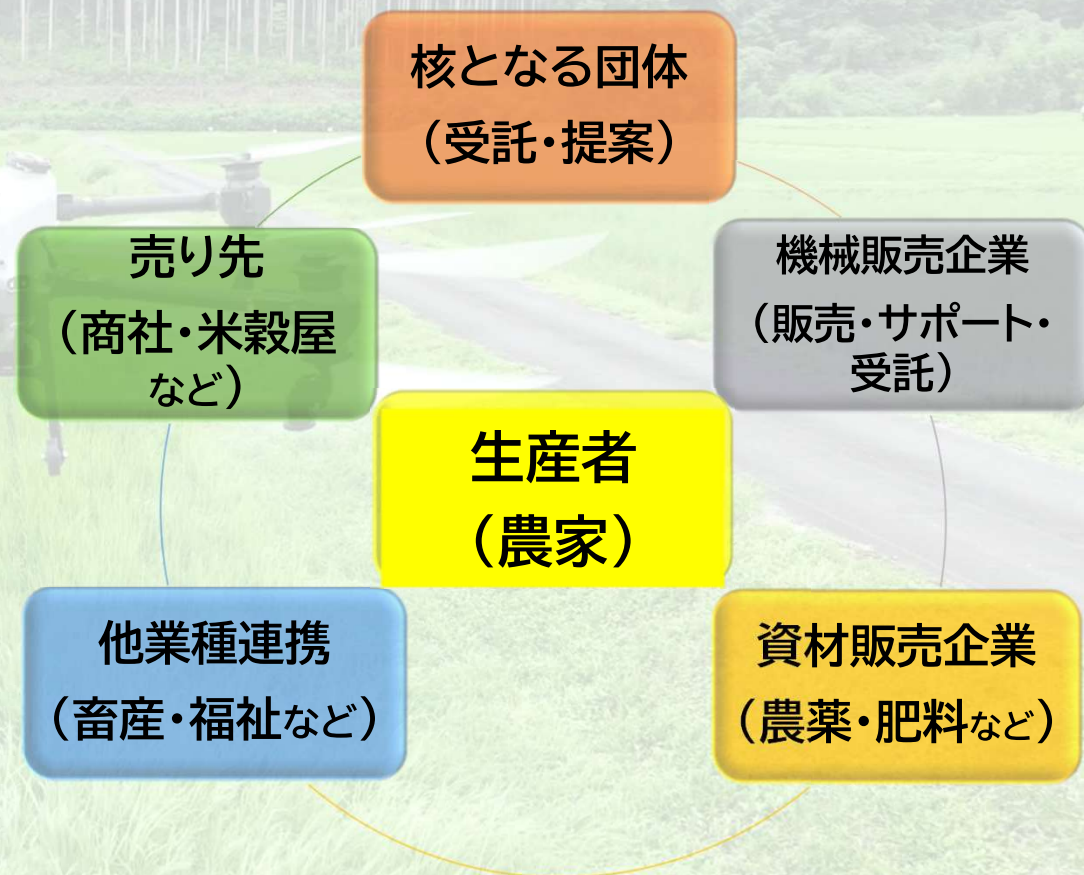
円形の連携

縦の繋がりではなく、生産者を中心とした円のような構造が求められます。

3

お互いに持続可能なビジネスへ

課題解決型のビジネスモデルで、農業の未来を支えます



核となる生産者・提案できる作業・出口を支える連携が必要

農業の「新」3Kへ

きつい ・ きたない ・ 危険ではなく…

「カッコいい」

「効率化」

「稼げる」 農業へ！



農業高校・大学での授業



農家への情報の共有

今後の目標

- 取り組みをSNSで全国へ発信。
- 農業、ドローン業界を盛り上げたい。
- 目指す姿→根拠をもった提案ができる。
- 出口(販売・収益)まで支えられる。

◆ただのドローン屋ではなく、、

「**農業者のサポーター**」

「**地域のインフラ企業**」へ。





空から革新を Innovation



ドローンの日々を
紹介してます！



Instagram

フォローお願いします

A drone is flying over a lush green field. In the background, there is a farm with various vehicles including a red tractor, a white truck, and a blue truck. There are also some buildings and a hill with trees in the distance under a blue sky with white clouds.

ご清聴ありがとうございました
Agriculture with drones

「空」から未来のタネをまく会社

株式会社エアーアシストジャパン